



令和 8 年 3 月 6 日

亀岡市議会議長 小川 克己 様

発議者	福井	英昭
	齊藤	一義
	松山	雅行
	木村	勲
	山本	由美子

決議案の提出について

別紙決議案を議決されたく、亀岡市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出します。

北陸新幹線亀岡経由新大阪ルートへ早期決定整備を求める決議（案）

亀岡市議会は、平成28年に「北陸新幹線小浜ルート早期整備を求める決議」を行った。

決議の中には、昭和48年以降、北陸新幹線小浜～京都口丹波地域～新大阪ルートの実現を要望し、誘致活動を続けた亀岡市や京都府口丹波地域の期待を裏切り、納得できるものではないとの内容もあった。このルート案は、最も歴史があり、最短距離のルートであったにも関わらず、検証、調査さえされることなく、候補ルートから外されたことについての地域の見解と憤りであった。

10年前当時、政府の委員会は、新たに3ルートで検討され、最終的に小浜～京都駅ルートで決定されたが、このルートに関しては、当初から想定されていた諸問題が浮き彫りになったことで、現在は一旦保留状態となっており、その後、紆余曲折を経て、政府は8つのルートで再検討するに至っている。

そもそも北陸新幹線は、日本海側の活性化と併せて、いずれ起こる東南海地震などに備えるダブルルートとしての機能に期待することが一番大きな意義であり、まさに国策そのものであった。

小浜～京都駅ルートでは、交通集中駅に乗り入れることで、災害時の危険をより増大させることと併せて、建設費が膨れ上がり、工期が延びることとなっては意味がなく、その目的を達成するためには、敦賀以西を最短ルートで結ぶことが求められる。

昭和48年から42年間、京都府口丹波地域が誘致運動を行ってきたことも踏まえ、小浜～亀岡経由～新大阪ルートの調査・研究を行い、早急に効果測定を行うこと、及び一日でも早く実現できるルートの選定を行われるよう強く望むものである。

以上、決議する。

令和8年 月 日

亀岡市議会